第2回検討会における主な意見に対する方針への反映状況

委員名	主な御意見	反映状況
久野座長	都市農業の位置づけを明確にすべき	基本方針本編の策定背景に記載
	農林業といった産業としての枠を超えた取組が 必要	基本方針本編の推進の方法に記載
	農林業の経済性と社会性をどう並立させるかが 重要であり、市内部の縦割りを打破するべき	基本方針本編の策定背景及び推進の方法に 記載
	現基本方針に記載のある市民農園については次 期基本方針にも記載すべき	重点項目3「支える」施策の方向(3)33 に反映
	成果指標について,市民農園の区画数や,京の旬 野菜などの設定も検討すべき	今後の検討会で議論
青合委員	燃料材の供給体制の構築は、利用量や現状の燃料材の量を勘案した上で、取組を進めるべき	重点項目1「高める」施策の方向(3)10 に反映
	北山林業の美林景観をいかした観光との融合な どにより、生産技術の継承が必要	重点項目 2 「創る」施策の方向(2)16, 重点項目 3 「守る」施策の方向(1)20に 反映
	災害に強い森づくりに安心・安全の視点を追記 するべき	重点項目3「守る」施策の方向(2)22, 23に反映
	市内の森林と寺社仏閣と結びつける方策をとるべき	重点項目3「守る」施策の方向(1)20に 反映
池本委員	東京の成功事例「アーバンファーミング」や「ア グリワーケーション」といった取組を京都市に おいても参考とし、試行的に農業参入ができる 新たな取組を行うべき	重点項目1「高める」施策の方向(1)1, 重点項目2「創る」施策の方向(1)14に 反映
大塚委員	農林業の魅力を伝えるためには、単発の体験で はなく、長期的・継続的な体験とするべき	重点項目4「支える」施策の方向(3)33 に反映
蒲田委員	新規就農者が生産技術を習得できる場(一過性 ではなく継続的な場)の提供が必要	重点項目1「高める」施策の方向(1)1に 反映
	流通業者が生産者に消費者の刻々と変わるニー ズをタイムリーに伝える必要がある	基本方針本編の推進の方法に記載
田渕委員	木材価格をあげるなどの取組により,後継者の 確保が必要	重点項目1「高める」施策の方向(2)5に 反映
長島委員	林業機械のシェアリングなどを検討すべき	重点項目1「高める」施策の方向(2)6に 反映
	災害に強い森づくりの項目に,「適切な管理の促 進」という表現を記載すべき	重点項目3「守る」施策の方向(2)23に 反映
	野生鳥獣対策は,野生鳥獣を守るということ,獣 害対策の2つの側面で考えるべき	重点項目4「守る」施策の方向(4)27, 28に反映

委員名	主な御意見	反映状況
貫名委員	環境の上に農林業が成り立つとするならば、重 点項目の順番は「守る→支える→高める→創る」 とするべき	基本方針本編の策定背景に理念を記載
	野生鳥獣対策の中に,「捕獲」や「防除」といっ た内容をもう少し記載すべき	重点項目4「守る」施策の方向(4)27, 28に反映
	農地・森林の多面的機能を図る指標として,水質 調査など,京都市が実施する内容を固めた上で, 効果的なものを設定すべき	今後の検討会で議論
森本委員	生産側のGAP取得が進むように案内等の支援 を行うべき	重点項目1「高める」施策の方向(3)9に 反映
	京都ブランドの構築には、賀茂なすや堀川ごぼ うといった文化や伝統を伝えていくべき	重点項目1「高める」施策の方向(3)13, 重点項目3「守る」施策の方向(1)13「再 掲」,重点項目4「支える」施策の方向(2) 13「再掲」に反映
安井委員	京北の魅力の発信や農業を通して京北に関わる 人を増やすためには、農家自身も発信力を持つ べき	基本方針本編の推進の方法に記載
湯本委員	環境保全型農業を進めためには、食と環境、食と 文化といった取組を行う必要があるなど、消費 のニーズが生産形態の変更を誘導するといった 視点を持って記載をすべき	重点項目1「高める」施策の方向(3)11 に反映
	森林の防災・減災対策には、スギ・ヒノキを広葉 樹等へ転換するべき	重点項目3「守る」施策の方向(2)23に 反映
	木材を売り、収益を上げる「林業」だけでは難しい。今後は、森林が有する多面的機能でも収益を上げる「森林業」を行うべき	重点項目2「創る」施策の方向(2)16, 重点項目3「守る」施策の方向(5)29に 反映
	成果指標について、多面的機能の指標設定は難 しいため、数値目標ではなく、5段階評価の手法 を取り入れるなど、検討すべき	今後の検討会で議論
渡邉委員	農林業の維持には、地域や地元を巻き込んだコ ミュニティの形成が必要で、それにボランティ アを活用するべき	重点項目4「支える」施策の方向(3)33 に反映
	新規就農者しっかりとした技術を身につけ、消費者ニーズに対応した生産のやり方を学ぶことから始めるべき	重点項目1「高める」施策の方向(3)11 に反映